



はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」

「これでよいのか」

「さあやるぞ」

中間期を迎えて

校長 関根 祐一

空気が寒気をまとい澄んできました。校舎4階廊下西端の扉窓からは、晩秋の色合いに染まり始めた狭山丘陵、背景に晴れ渡る青空、秩父連山の重厚な稜線や雪を冠した美しい富士山の姿を望むことができます。

夏の厳しい日差しがあった運動会、みどり学級・1・2・3年生の遠足、25日に真冬を感じる寒さの中で本校を会場に開催された6年生の三校親善体育大会と、10月は沢山の行事がありました。どれも子供たちの頑張りと喜びの笑顔に溢れ、よい思い出になったことと思います。保護者の皆様には、各行事の開催にあたり、ご理解とご支援をいただきまして誠にありがとうございました。あらためまして感謝申し上げます。

さて、1学期に実施された全国学力・学習状況調査（6年生で実施）と埼玉県学力学習状況調査（4・5・6年生で実施）の結果が届いています。

調査結果は、学力の一側面のみを示すものであって、学びの成果の全てを表すものではありませんが、概観しますと、全国学力・学習状況調査では国語・算数・理科ともに全国・県の平均を上回り、県の学力学習状況調査も、市や県の平均を上回る結果でした。一方、学年、教科を問わず記述で答えていくことへの課題も明らかになりました。

11月初頭は、1年で見れば残り2か月の頑張りが、2学期という視点ではちょうど中間点であり、これからの取組を見据えていく適時といえるポイントです。先程調査結果に触れた学習面だけでなく、友達との協力や、言葉遣い、そうじへの取組等、学校での生活面も含めて、今年（今年度）の目標・めあて、あ

るいは2学期の目標・めあてを確かめ、これまでの取組を整理してみるとよいのではないのでしょうか。できたこと、頑張れていること、あるいは、もう少しという反省を含め、振り返りをエネルギーにして、あらためてスタートする好機にできればと思っています。

教職員も、この時期には、目指す学校像の実現に向け年度当初に設定した目標、手立ての進捗状況を振り返り、後半の実践計画を立てています。一例ですが、先の記述に関する課題に向けては、授業の“まとめ”を子供が自分の言葉で記述する活動を多くすることを共通の取組としました。2学期後半も、安心して自分を表現でき、伸びやかに成長できる「人のために子供も教職員も皆、笑顔で 尊敬し合い（愛）協力し合い（愛）学び合う（愛）安全・安心な学校」を目指してまいります。今後ともご理解とご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

11月は、「いじめ撲滅強調月間」です。本校でも、いつでも起こる可能性があることと捉え、小さな変化や一つの事案の内にある関係性に目を向けいじめの早期把握と解決に取り組んでいきたいと考えています。

同時に、子供一人一人に活躍の場、居場所があり、自分を大事にできる、いわゆる自己肯定感を高めていけるようにすることが、ちがいを受容し、互いの良さを認め合えることに繋がり、いじめを前向きな姿勢で防いでいけるものとも考えます。このような学校でありたいと強く思っています。